

DANCE OPERA

ダンスオペラ

2004年2月22日(日) 13:30開演(14:30閉演)
愛知県知立市文化会館(パティオ池鯉鮒)
かきつばたホール

シェーンベルク作曲
『月に憑かれたピエロ』

目から飲むワインは
夜ごき月よりふりそそぐ

これは歌、それとも語り？
繊細で透明感溢れるソプラノが描く
21編の時にのって
ふたりのダンサーが舞う幻想の月夜

振付・ダンス：平山素子
上村なおか
シブレット・ダンス・荻野砂和子

表座・八野周



原作：織田信長
演出：名古屋フィルハーモニー交響楽団

ストラヴィンスキー作曲
『兵士の物語』より
踊られ、演じられ、奏でられる
『悪魔の物語』

この本には、未来のことが書いてある
未来のことが前もってわかる本だ！

ロシア民話をもとに、100年前につくられた
歴史的名作『兵士の物語』。
21世紀初頭、『悪魔の物語』として甦る。

台本・語り：澤登 翠
演出・振付：ユーリ・ン
ダンス：笠井 徹
シン・ラン
白井 剛
越智友則
三井太一

舞台美術：イーウィン・チャン



主催：愛知芸術文化センター企画事業実行委員会
ちりめん芸術振興協会、東海テレビ放送
共催：知立市・知立市教育委員会
企画・制作：愛知県文化芸術センター
パフォーミング・アーツ・フェスティバル実行委員会

協力：アーキタンツ、編舞インターナショナルパレエ、天候劇場、CIC
協賛：キリンビール株式会社、チョコレート株式会社、林商店
助成：知立市人権擁護委員会



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。
宝くじは、広く社会に役立てられています。

＜ダンス・オペラ＞ 誕生

オペラのように華やかで
ダンスのように自由な舞台

2004年2月22日(日) 15:00開演(14:30開場)
愛知県知立市文化会館「パティオ池鯉鮒」
かきつばたホール

指揮：磯部省吾
演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団

DANCE OPERA

ダンスオペラ

踊られ、演じられ、奏でられる『悪魔の物語』

作曲：イゴール・ストラヴィンスキー
原台本：シャルル＝フェルディナン・ラミューズ

台本・語り：澤登 翠
演出・振付：ユウリン
ダンス：笠井 徹、シン・ラン、白井 剛、
越智友則、三井太一

コリス：伊藤久基、入江 慧、幸田 律、タナカアツフ、
ダンバラ照和、戸崎孝則、成田勝行、山田洋平、
依江智文、梅村貴志、加代雅規、高橋 博、
時田和典、内藤幸幸、中山 真、本多正直ほか

舞台美術：イーウィン・チャン

●演出・振付：ユウリン Yuri Ng

6歳よりバレエを始め、ロイヤルバレエスクール(現)で学ぶ。82年イギリス・アデリン・ジェニー国際バレエコンクールにてゴールドメダル受賞。カナダ・ナショナルバレエ入団。93年香港へ帰国。振付活動開始。98年City Contemporary Dance Company(CCDC)に振り付けた『Boy Story』でパシフィック国際振付賞受賞。2000年香港最優秀振付賞受賞

●台本・語り：澤登 翠 Sawato Midori (活動弁士)

法政大学文学部哲学科卒業。故・松田幸翠に師事し、1973年、弁士としてデビュー。以後、広域話芸・話芸を現代のエンターテインメントとして広めた弁士の第一人者。89年、フランスのアビニオン芸術祭に招待されたのを契機に海外公演も数多い。平成11年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。



●ダンス：笠井 徹 Kasai Akira (舞踏家)



1960年代、土方 芳、大野一雄と共に舞踏の創生期を築く。71年より「天使船」を主宰し多くのダンサーを輩出。79年オリエントミー・研鑽のため渡独。85年帰国後よりオリエントミー公演を精力的に行う。94年「セラフータ」でダンス活動を展開。ダンサー・振付家として新たな展開を見ている。

●ダンス：シン・ラン Xing Liang.
(CCDCレジデンス・ダンサー)

1993年広東モダンダンスカンパニー入団。94年第6回パリ国際舞踊コンクール「男性ソロ部門」金賞受賞。96年「国内トップ10ダンサー」に選出され、97年広東省政府により「今世紀のスター」と称される。98年香港舞踊連名賞を授与。2001年第1回イタリヤ国際舞踊コンクールで、自作「Night of Dancer」がモダンダンス部門銀賞を受賞等、賞歴多数。



●ダンス：白井 剛 Shirai Tsuyoshi
(Study of Live works 発案者<ばねと>)



振付家・ダンサー・映像作家。千葉大学工学部工業意匠学科卒業。96年〜2000年、「伊藤キム+舞+未来」ダンサー。96年より振付家として活動。2000年『Living Room-砂の部屋』でパシフィック国際振付賞受賞。02年愛知県芸術劇場にて「夜/彼女の楽しみ方」上演。02-03年、トヨタコロレオグラフィーアワード(最終審査会)に2年連続出場。

●ダンス：越智友則 Ochi Tomonori
(越智インターナショナルバレエ)

ワレリー・コフリン(キエフバレエ)、ヴァイチェスラフ・ホミヤコフに師事。2000年第3回アルテック国際バレエコンクール第1位金賞受賞。01年第9回モスクワ国際バレエコンクールシニア男性ソロ部門で、第3位銀メダル受賞。02年第4回世界バレエ&モダンダンスコンクールクラシックバレエ男性部門で、銀メダル受賞。



●ダンス：三井太一 Mitsui Taichi



中学校時代より機械体操を始め16歳の時に新体操に転向。東洋大学在学中に男子体操部にて多数競技に参加。1997年新体操選手権大会、リングの二種目で優勝。99年全国日本学生新体操選手権大会 総合優勝。2000年 体操、TBS系筋肉番付「マッスル・ミュージカル」のオリジナルメンバーとして連続出演。

＜ダンス・オペラ＞がめざすもの、それはダンスや音楽、演劇、美術など様々な芸術分野が、作品のより深い根底で結びつくことによって、誰もがからだを通じて感じ取ることのできる体感的な総合舞台芸術です。

原始の祝祭では、かがり火を囲んで、叫び、歌い、踊り…、ひとは、からだのすべてを使って表現し、感じ取っていました。そうした祝祭から生まれた芸術はやがて様式化され、個別のジャンルとして、独自の表現を追求ようになります。分化されてしまった芸術を、もう一度統合し、同時に誰もが体感できる舞台芸術を創りたい。愛知芸術文化センターは、そうした思いから、＜ダンス・オペラ＞という、新しいかたちの創造を宣言します。

2000年の『春の祭典』、昨年の『カルミナ・ブラーナ』に続く今年、ストラヴィンスキー『兵士の物語』とシェーンベルク『月に悪かれたピエロ』のダンス・オペラ化に取り組みます。ロシア民話「脱走兵と悪魔」から着想された『兵士の物語』。今回は、視点を切り替えて、人間誰しもが持つ悪魔性に注目した、現代のファンタジー『悪魔の物語』として甦らせます。話題の女性活動弁士・澤登 翠による台本・語り、ユーモアあふれるユウリンの振付。魅力いっぱいの悪魔には舞踏の創始者のひとり笠井 徹、そしてバレエ、コンテンポラリー、新体操…と、個性的な役配による新作です。

『月に悪かれたピエロ』は、月のひかりを浴びたピエロの陶酔を歌った21編の詩を音楽にのせて、時に歌うような、また時に朗読するような荻野砂和子のソプラノとともに、ふたりの美しい女性ダンサー平山素子と上村なおかが、幻想的で透明感溢れた、月夜の幻想に誘います。この作品は、知立だけで観ることができる特別プログラムです。いずれも、20世紀を代表する作曲家による名曲でありながら、コンサートでは聞くことのできない作品の＜ダンス・オペラ＞化。悪魔の魅力と月夜の誘惑、ふたつのファンタジーをお楽しみください。

『月に悪かれたピエロ』

作曲：アーノルド・シェーンベルク

詩：アルベール・ジロー

振付・ダンス：平山素子、上村なおか

シュプレヒシュティンム(歌・語り)荻野砂和子

衣裳：久野周一

舞台美術コンセプト：合志崇

構成・演出：唐津絵理

●シュプレヒシュティンム(歌・語り)：

荻野砂和子 Ogino Sawako

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。ベートーベン「第九」をはじめとする合唱曲のソリスト。また舞台では「こころ」「天国と地獄」「魔笛」で主演など、NHK、FM「名曲リサイタル」にも出演。現代歌曲の演奏にも数多く関わっている。1987年より11回のリサイタルを開催。平成8年度名古屋市民芸術祭審査員特別賞受賞。



●振付・ダンス：平山素子 Hirayama Motoko



名古屋生まれ。幼少からバレエを始め、筑波大学大学院舞踊科修士課程修了。99年世界バレエ&モダンダンスコンクール、モダンダンス部門金メダルとニジンスキー賞を受賞。現在はコンテンポラリーダンスを中心に、国内外公演に多数出演するほか振付家としても活躍中。02年より筑波大学体育科学専任講師。

●指揮：磯部省吾 Isobe Shogo



1979年愛知教育大学卒。翌年同大研究科修了。同年桐朋学園で指揮を堤俊作氏に師事。85年東京バレエ団公演「くるみ割り人形」全幕を指揮してデビュー。90年「三つのオレンジの恋」全幕でオペラデビュー。札幌舞、東京シティフィル、神奈川県フィル、京都市舞、広島舞、九州舞など全国各地のオーケストラに客演。

●振付・ダンス：上村なおか Uemura Naoka

金沢生まれ。1991年より木佐貫邦子主宰のダンスグループneoの活動参加。95年より自作ソロダンス開始。他に笠井徹作品や山田せつ子のプロジェクトへの出演。笠井徹との共作。他ジャンルのアーティストとの活動も積極的に展開。2002年度は文化庁新進芸術家国内研修制度研修員。



●名古屋フィルハーモニー交響楽団

1966年に結成。73年、名古屋市の出捐により財団法人となる。現在の指揮者は、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、沼尻竜典(常任指揮者)、武藤英明(客演指揮者)、ボブ佐久間(ポップスオーケストラ・ミュージックディレクター)。名古屋市民会館大ホールと愛知県芸術劇場コンサートホールを主会場に、年間約115回の演奏会を行っている。2004年には、「プラハの春」音楽祭出演を含む、ヨーロッパツアーが決定している。

照明デザイン：松原重光 音響デザイン：仙頭 規 舞台監督：大島聡子 技術総括：児玉道久

入場料：全席自由 3,000円(パティオレーと会員 2,700円)

※2月28日(土) 16:00 愛知芸術劇場大ホール 地元バレエ・スターの競演『ダンス・クロニクル』との特別割引セット券(3,000円+9,000円→10,000円)あり。愛知芸術文化センター地下2階ブレイクガイド、チケットびあのみのお取り扱い。

チケット発売開始：12月9日(火)＜パティオレーと会員先行発売 12月2日(火)＞
チケット取り扱い：愛知芸術文化センター地下2階ブレイクガイド TEL052-972-0430
知立市文化会館アートセンター TEL0566-83-8102(パティオレーと会員 2,700円)
知立市内：日進堂書店、正文館ハッパ店、リリオコンサートホール、アピタ刈谷店
※パティオレーと会員割引は知立市文化会館アートセンターのみのお取り扱いとなります。
チケットびあ 一般/TEL052-320-9999 Pコード/TEL052-320-9966
Pコード/単独券Pコード 350-663 特別割引セット券Pコード 783-042
イープラス http://eee.eplus.co.jp/(パソコン&ケータイ)

お問い合わせ先：愛知県文化情報センター TEL052-971-5511(内725) TEL052-971-5644
E-mail bunjo@aac.pref.aichi.jp URL http://www.aac.pref.aichi.jp/



●関連公演のお知らせ
あいちダンス・フェスティバル「ダンス・クロニクル(舞踏年代記)～それぞれの白鳥」
2004年2月28日(土) 16:00開演
入場料：S席 9,000円 A席 7,500円 学生席 3,000円